関根まみ子ニュース

SEKINE MAMIKO NEWS

編集・発行／区議会公明党　幹事長　関根まみ子
134-0024 江戸川区一之江7-11-25(事務所)　TEL&FAX 03-3869-0978

2026年（令和8年）3月　第57号

区民の生命と暮らしを最優先に!

第1回定例会本会議で代表質問で登壇!

定例本会議で質問する関根まみ子区議

関根まみ子区議は、令和8年2月第1回定例会本会議の代表質問で登壇しました。質問の概要をお知らせします。

問　斉藤区長の新年度予算にかける思いと決意について

答　今を生きる全ての世代によりそいながら、子育て、稼働年齢層や高齢者向けなど施策を体系化した。全世代型の区政運営で、区内経済と区民生活を守っていく。

問　「えどがわ50の子育てプラン」の今後の展開について

答　新年度予算では、5歳児健診や子どもだれでも通園制度、幼稚園のプレ保育の無償化など新たな子育て支援策を提案した。全ての子どもと子育て世代によりそい、「子育てするなら江戸川区」と思っていただきたい。

問　本区の中小企業の支援について

答　本年度は、新たな融資制度や人材不足に係る助成制度など、経営支援の強化を図っていく。

問　高齢者施策の今後の推進について

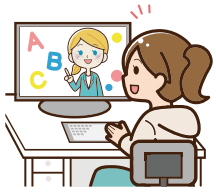
答　年を重ねても幸せに暮らせるように、高齢者向け130のプランを作成し見える化した。新規のシルバーパス助成事業も掲載している。

移動支援（新たな公共交通）
グリーンスローモビリティの車両

シルバーパス（区独自）

問　英語教育における新年度からの取り組みについて

答　小中学校9年間を一貫して、「小中連携英語プログラム」の活用を推進していく。子ども達がちゅうちょなく英語を話せるよう、体制を整えていく。



教員への支援体制の強化について

問　①「学校における働き方改革プラン」について

答　スクールサポートスタッフや部活動外部指導員の配置、学校閉庁日や夜間の電話自動応答対応など、業務軽減を図ってきた。さらに、小学校3年まで副担任、学年アシスタント、徴収金管理のシステム導入も行った。

問　②教員を元気にする支援体制の今後の展開について

答　教職員の時間的な余裕が心の豊かさにもつながり、結果的に学びの質の向上に成果が出ている。全ての教員がやりがいを実感し、元気で生き生きと児童生徒に向き合える体制を堅持していく。